

補助金の交付状況に係る調書【令和2年度交付分】

補助金の名称		犬山市地域活性化センター移住・定住・交流推進支援事業助成金		市の担当部課	経営部企画広報課		
				問い合わせ先	0568-44-0312		
補助金の交付を受けた補助事業者の名称		ミラマチ栗栖		代表者名	会長 仙石 友男		
関係規定	法令	—		条例	—		
	規則等	犬山市補助金等交付規則		要綱	移住・定住・交流推進支援事業に係る要綱((一財)地域活性化センター)／犬山市地域活性化センター移住・定住・交流推進支援事業助成金交付要綱		
補助事業者の選定方法(公募又は特定団体)		公募により選定		補助開始年度	令和2年度	補助終了年度 令和2年度	
特定団体への補助の理由(公募で選定しない理由)		—					
市が補助金を交付する公益上の必要性(何をどうしたいのか)		移住・定住・交流人口の増加等につながる交流の推進を図り、地域の活性化を目的とする本助成事業を実施することにより、地域の魅力が高まり、犬山市に興味をもってもらい、住みたいと思う人を増やす。そしてゆくゆくは市内に居住していただく。その結果として市県民税等税収の増加が見込まれる。					
補助金の額 ()は一般財源の額		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度予算		
		—	—	505,000 円	—		
		—	—	(0 円)	—		
市の補助金を使って実施した事業の内容		①野縁公苑を活用した、栗栖の魅力発信するイベントの開催 栗栖で育った野菜を収穫する「収穫体験祭」を開催。 ②栗栖地区活性化プランの作成 今後の栗栖地区のために必要なこと、自分たちでできることをテーマにワークショップを開催。その結果を地域活性化プランとしてまとめた。(①・②ともに感染症対策を講じて開催した。)					
補助金の使途		補助事業者の会計全体の決算額(支出)		—			
		うち補助事業全体の経費		523,170 円			
		うち補助対象経費		505,000 円			
		補助対象経費の内訳		報償費(ワークショップ講師 謝礼)		150,000 円	
				旅費(ワークショップ講師 費用弁償)		15,000 円	
				需用費(イベント消耗品・拠点整備用具購入)		71,742 円	
委託料(地域活性化プラン策定支援業務委託)				165,000 円			
		備品購入費(イベント用備品購入)		103,258 円			
補助額の算出方法		補助率、補助額		10/10(一般財団法人地域活性化センターの要綱に基づく。)			
		補助限度額		2,000,000円(一般財団法人地域活性化センターの要綱に基づく。)			
		精算の有無(変更交付)	有	その理由	犬山市補助金等交付規則に基づき、計画変更があれば対応する手続きが用意されているため。		
補助金を交付して市が得たメリット(何がどうなったのか)		収穫体験祭参加者の満足度が高く、非常に好評であったとのこと。地元住民は栗栖の自然を活用して人を集めることに手ごたえを感じてきている。地域活性化プランに基づいて、体験の質の向上や高単価な商品開発の検討など、今後も活動を継続していくことで、さらに栗栖地区の魅力が高まり、同地区の関係人口が増え、のちに移住定住へつながっていくと考える。					
その他参考事項		補助事業者の会計全体の余剰額(繰越額)		—			
		うち補助事業全体の余剰額(繰越額)		—			
		補助事業者が補助金とは別に市から委託業務を請け負っているかの有無		無			

※令和2年度の実績に基づき作成しています。